

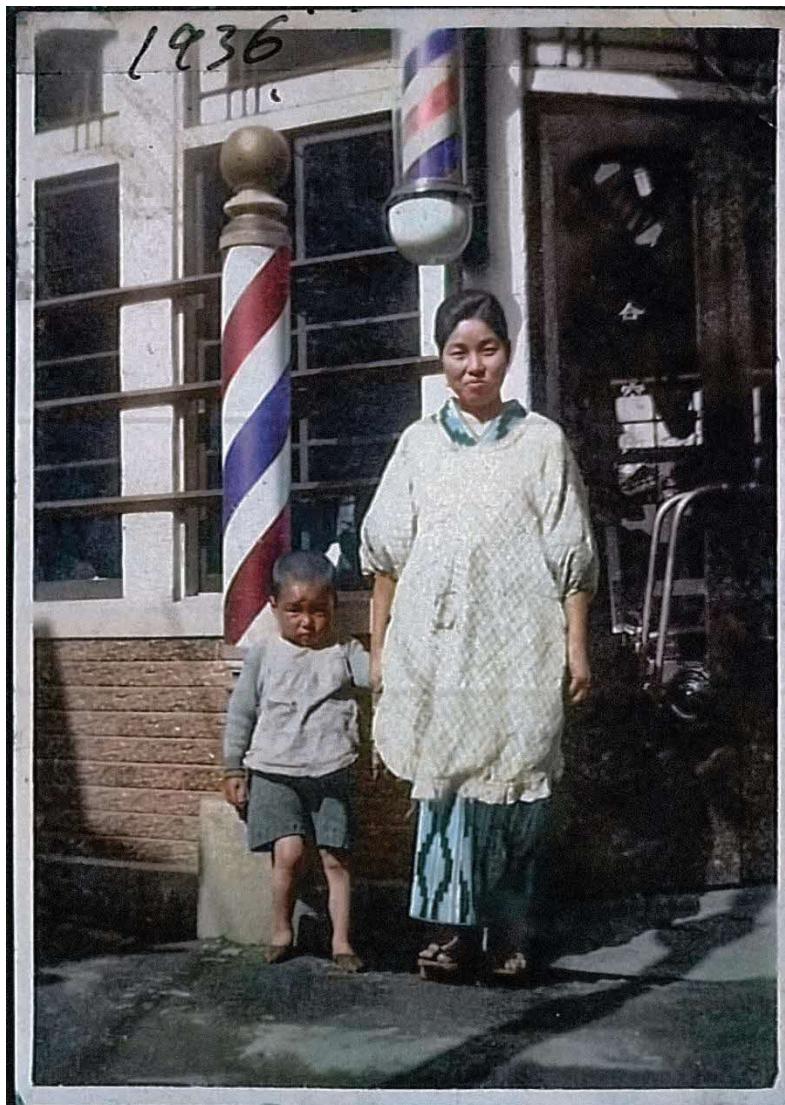
## 戦争と平和を自分ごとに

モノクロ写真をみるとき、遠い過去のこととして、かつてあった街、生きていた人、それらは今を生きる自分とは違った世界のできごとだと捉えがちです。令和3年度（2021年度）の平和資料室特別展では、東京大学学生の庭田杏珠さんと渡邊英徳教授による「記憶の解凍」プロジェクトが著した同名の書籍から選んだ、戦前・戦争の写真約30点をパネル展示します。AI（人工知能）技術と戦争体験者との対話・資料などをもとにカラー化した写真には、「原爆や戦争・平和について自分ごととして想像してほしい」という思いが込められています。戦後76年の夏、この特別展が市民の皆様にとって、戦争と平和について考える機会となることを祈っています。



写真提供：濱井徳三  
カラー化：「記憶の解凍」プロジェクト 庭田杏珠×渡邊英徳

# AIとカラー化した写真でよみがえる戦前・戦争



入場  
無料

平和資料室特別展

7月31日～8月12日

午前9時30分～午後7時

（金曜休館 土・日・祝・最終日は午後5時まで）

中央図書館 1階 平和資料室

（枚方市車塚2-1-1 京阪バス「片鉾・中央図書館」下車すぐ）

アクセスの詳細はこちら⇒



### 平和資料室とは？



平成18年（2006年）、戦争の体験や記憶を風化させることなく、平和の尊さを次世代に伝えていくため、中央図書館1階に開設されました。普段は禁野火薬庫大爆発のパネルなどを展示。毎年夏には特別展を開催しています。

<ご来場の皆様へ>

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、会場内ではマスクを着用し、ソーシャルディスタンスの確保にご協力をお願いします。